



# ご意見内容と回答はこちら

## 【ご意見】

4月から幼稚園に行く子供は卒園式は無いとお聞きしましたがそれは本当でしょうか？もしそれが本当であれば保護者としては残念です。唯一の晴れ姿を見たいのに見れない、今まで通っていた期間や思い出はなんだったのかと思います。行事全て無いしんあい保育園でそれでも残念で寂しい気持ちもありましたが、さすがに卒園式がないのはちょっと...と思いました。

## 【回答】

この度は卒園に関してご不安な思いをお寄せくださり、率直に伝えていただきありがとうございます。心愛こども園は就学前の5歳まで継続して保育を行う園であり、4歳で幼稚園や別園へ移られる場合は制度上は「卒園」ではなく「転園」という扱いになります。卒園式は年長児として1年間を過ごし小学校へ就学する5歳児とその保護者を対象に行っており、5歳児保育の開始以来この形を大切に続けています。4歳で転園されるお子さまについては、園での生活を温かく締めくくめるよう、子ども同士でのお別れ会の時間を設けています。

過去に沖縄独自の文化として、アメリカ統治下時代の教育制度の影響で保育園の5歳児保育が整備されておらず4歳児までの保育が中心で、アメリカのプレスクールの考えから「5歳の1年間だけ幼稚園に通わせる」ことが一般的だった時期があり、その名残が現在も一部に見られます。ただ、現在の制度では沖縄も5歳児保育の整備も進み、保育園やこども園は5歳まで連続して保育を行うことが標準であり、4歳で園を離れる場合は「卒園」ではなく「転園」とすることが適切となります。

また、当園は行事がないわけではなく、形は違いますが行事はあります。運動会は「プレイデイ」として親子で一緒に体を動かして遊ぶ時間を楽しみ、お遊戯会は「ドキドキ☆ワクワクフェスティバル」として、普段の遊びや探求の様子をゆるやかに発表しています。いずれも、大人主導で「見せるために準備する行事」ではなく、保護者がお客さんになるのではなく、子どもと一緒に楽しみ、育ちを共有する行事として大切にしています。幼稚園教育要領においても、行事は「生活の自然の流れの中で、子どもが主体的に楽しく活動でき、負担にならないようにすること」が基本的な考え方とされています。こうした行事は、子どもの主体性を育む時間であり、日々の生活や探求の中で、自分たちの表現や学びを自然に積み重ねていける行事として取り組んでいます。

お子さまの晴れ姿を見たいというお気持ちはとても自然で、私もその思いを大切に受け止めています。今後も丁寧に対話しながら、よりよい形を一緒に考えてまいりますので、ご不安やご要望があればどうぞお気軽にお声かけください。